



# 会報浦和支部

発行人  
埼玉県行政書士会  
浦和支部

支部長 赤坂 昌雄

## 目標100件の意気込みでの

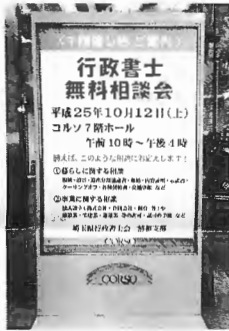
## 行政書士無料相談会

毎年10月全国一斉に実施される行政書士制度広報月間における無料相談会を、10月12日(土)に浦和駅西口のコルソ7階ホールにて開催した。

この相談会は、以前は埼玉会が中央会場として実施、浦和支部が運営協力していたものであるが、平成22年度から浦和支部単独の事業として実施している。

午前9時に28名の会員がコルソに集合、赤坂昌雄支部長などの意気込みをこめたあいさつのち、全員で横断幕や机椅子、ポスターなどの設営を行った。

コルソ開店の時刻となり、チラシ配布のスタッフは街頭に、相談担当者・受付担当者も各々席につき相談者を待った。



コルソ入口の案内

当日は快晴で絶好の行楽日和と思われ、コルソ来店客足に若干の心配があったが、午後2時半ごろには相談席全席が埋まり、相談者に受付で待機してもらう事態となり、急きよ相談席を3席増やし全12席での対応に追われる次第

となった。



相談会場風景

今回も事前に浦和支部エリアの5区役所のくらし応援室並びに26か所の公民館等に、支部会員名簿と今回の無料相談会のチラシ配布の依頼を広報部員が手分けをして行った。中には県や市の後援のないものは扱わない公民館、名簿はダメだが、チラシはOKという公民館等、対応も様々であったが大抵の公民館では快く受け入れてくれた。



相談受付風景

事前のチラシ配布とともに、当日のチラシ及びポケットティッシュ配布の効果があったと思われる、チラシによる相談者は年々増加し、一昨年の5件、昨年の16件、今年は23件(事前の6件、当日の17件)となり告知の方法としては効果が大きいことを感じた。相談件数は目標の100件には及ばなかったが昨年の2倍増の47件となった。

内訳は

- 遺言・相続.....27件
- 不動産関係.....4件
- 各種契約.....2件
- 内容証明・会計記帳.....1件
- 法人設立.....1件
- その他.....12件
- (離婚・交通事故・マンション関係等)

であった。

遺言・相続の相談が全体の57%、60歳以上の相談者は28名であった。  
遺言や相続に関する悩みや問題を抱えている市民が多くいることをうかがわせる結果であった。なお、相談時間を制限しなかったため1時間近くの相談が多く、長い間相談者を待たせるなどの課題があった。

(広報部 中村伸二)



無料相談会の参加者

### 職務上請求書の取扱いに注意!!

職務上請求書の不適切な使用が大きな問題となつていきます。会員の皆様には十分ご承知のこととは思いますが、本来の目的以外に使用することのなきよう重ねてお願い致します。

# 第1回研修会

7月26日(金)午後6時より埼玉会館3C会議室にて、企画部主催の第1回研修会を開催しました。今回のテーマは「たった15秒で好感度が上がる声の磨き方、話し方」についてと題し、(株)ボイスクリエーションシキクル代表取締役の佐藤恵先生にご講義をしていただきました。

佐藤先生は、現役のラジオパーソナリティーであり、企業や個人に向けての数多くの話し方教室、話し方セミナーの現場に携わってきた方です。ご講義の中では、自分の第一印象がたった15秒で決まってしまうことや安定感・説得力のある声の出し方、話し方やメリハリのある話し方などのお話を語っていただきました。



講師の佐藤先生

また、講義だけでなく、配布されたレジュメを用いながら、実際に声を出して滑舌練習を行いました。務的なものでありましたが、したがって、私たち会員にとっては、非常に心を打たれる内容であると共に、仕事への新たな意欲をいただいたと感じたのではないかと思います。

当日の出席者は浦和支部より30名と他支部より4名、合計34名と沢山の方のご出席をいただきました。質疑応答では、会員の方

からの質問が活発に生まれ、佐藤先生には懇切丁寧に回答していただき、限られた研修時間内では語りつくせないものとなりました。さらに各自研鑽し、今後の業務に役立てていただければと思います。

企画部では、皆様のご意見をいただきながら、時代のニーズに合ったより充実した研修会を行いたいと考えておりますので、何卒ご協力お願い申し上げます。今後とも多くの先生方のご出席を心よりお待ちしております。

(企画部 峯尾 聡)

# 第2回研修会

10月25日(金)午後6時より埼玉会館3C会議室において、企画部主催の第2回研修会を開催しました。

講師には本会国際部部長の富岡綾子先生をお招きし、「図解式で考える運送業」というテーマで約3時間にわたりご講義いただきました。



講師の富岡先生

富岡先生は、長く一般貨物自動車運送事業や入管業務等を主業務としており、実際に数多くの現場にも携わってきた方です。出席会員の一般貨物自動車運送事業の経験者と未経験者の割合は、未経験者が多数だったため、ご講義はその場でどちらに

も有意義なものとなるような内容で進行していただきました。

ご講義の中では、自らの経験談を踏まえて、配布された図表・資料等を用いながら、一般貨物自動車運送事業経営許可申請における全体的な流れ、申請書類の構成内容、人的要件、物的要件、財産的要件等を説明されました。

更に法令試験に合格させることも行政書士の大事な業務になること及び法令試験の受験指導のポイントも話されました。

また、我々行政書士が一番身近な相談相手として、運送事業者と継続的なお付き合いへと発展していけば、産業廃棄物収集運搬業・倉庫業・自動車登録・顧問契約等の業務拡大につながることも話されました。

当日は32名のご出席をいただき、出席会員の皆様は最後まで熱心に聴講しました。出席会員からの質疑応答では、富岡先生は丁寧かつ的確にお答えくださいました。本研修会終了後、参加された多くの会員から「資料等が充実しており、大変わかりやすい説明でとても有益な研修会でした。」との評価をいただきました。

さらに各自研鑽し、今後の業務に役立てていただければと思います。

(企画部 峯尾 聡)

# 新会員交歓会

9月27日(金)午後6時10分よりさいたま市民会館うらわ101集会室にて、企画部主催の新会員交歓会を開催しました。

出席者は、新会員12名、役員11名の合計23名でした。

会は、田幡悦子企画部長の司会により、小栗重美副支部長の開会のことばから始まり、赤坂昌雄支部長からは、「身の回りの整理整頓を行うこと。お金の管理をしつかりすること。人との信用や仁義を大切にすること。一日一生であること。(一日一日を精一杯生きること。)志を高く掲げること。などこれらを実行すれば、きっといいことがあります。」との挨拶がありました。



新会員を囲んで

続いて、行政書士としての抱負や自分の趣味・興味のあることなどを交えた新会員の自己紹介が行われました。自己紹介では新会員の方々は「自分紹介で前向きなコメントが印象的でした。」次に、支部役員の自己紹介及び支部活動並びに新会員に対するメッセージなどが行われました。

毎年恒例の記念撮影の後、乾杯の音頭を嶋根賢一副支部長にお願いしていただき、歓談や立食形式の食事に入りました。終始和気藹々とした雰囲気の中で交流を深め、新会員同士の名刺交換や情報交換などもそこそこで活発に行われていました。

歓談後、新会員の方々からの質疑応答、支部役員よりアドバイス、最新事情等もあり、大変和やかな雰囲気のあるものでした。

最後に、山崎智博総務部長の閉会のことばで閉会となりました。

(企画部 峯尾 聡)

# 新会員自己紹介



野村 俊朗  
のむら としろう

はじめまして。2月登録の野村俊朗と申します。昭和28年熊本県生まれ。防衛大学校を卒業後、陸上自衛隊に34年間勤務、主に研究開発事業に従事し、ミサイル開発などプロジェクトに参加しました。自衛隊の定年は比較的早く(56歳、60歳(平成25年3月)までに個人事業主として開業することを目指し、行政書士事務所を開きました。この間に、社会経済についても勉強する必要を感じ、社会保険労務士、ファイナンシャルプランナー、年金アドバイザー、日商簿記保険募集人などの資格を取得して、各々の相乗効果を発揮しながら、今後の活動に役立てたいと思います。

抱負としては、街の法律家として相続・遺言などの相談を受けての「くらしサポート」、イキイキとした会社づくりのお手伝いをする「経営労務サポート」を中心に据えて、さいたま市に密着した営業活動を行います。

趣味は、山歩き、ジヨギングなど野外活動です。最近はやや運動不足気味ですが健康第一を心掛けています。今後とも宜しくご指導のほどお願い申し上げます。



前原 百合  
まえばら ゆり

浦和支部のみならず、今年4月に入会いたしました。前原百合と申します。浦和生まれ、浦和育ち。現在も浦和に住んでおります。こんな浦和っ子の私ではあります。趣味はサッカー観戦ではなく、野球観戦。埼玉西武ライオンズの大ファンです。球場に行けば、外野応援団の前に陣取って仲間とともに熱烈応援しております。また、お酒も大好きです。すでに研修会や研修旅行などの支部行事において、たくさん先輩方とお酒を飲みながら、いろいろお話し、勉強させていただき感謝しております。

このときの気持ちを忘れず、お客様一人一人に真摯に向き合い、心から頼りにされる行政書士になることが、私の目標です。まだ業務は絞り切れていませんが、日々学び、前に進んでいきたいと思っております。今後ともどうぞよろしく願っています。



古川 美保  
ふるかわ みほ

5月15日登録(入会)

専業主婦の10年間を挟んで、裁判所に約10年勤めました。裁判所では良き上司や同僚に恵まれ、貴重な経験をたくさんさせていただきました。しかし、裁判には「お金も、時間も、労力もかかる」とも実感しました。紛争になる前に相談できる場を提供したいと思い、行政書士で開業しようと思いを決めました。現在、自治体の消費生活相談員もしておりますが、動機は同じです。

趣味は(というより)ストレス解消ですが、学生時代から続けている楽器演奏(ピアノ)とプールで身体を動かすこと、それと読書です。

入会から半年過ぎましたが、支部の研修会や無料相談会の後の懇親会などで諸先輩方といろいろなお話をさせていただき、「浦和支部は良い人ばかりだよ」という評判が嘘ではないことが分かりました。そのような方々と知り合えたことを大変うれしく思います。今後ともどうぞよろしくお

願っています。



碓氷 由之  
うすい よしゆき

本年6月15日付で登録され、第二の人生を行政書士としてスタートした、碓氷由之と言います。宜しく願っています。

【経歴】

【第一の人生】警視庁警察官。特に50歳から6年間、職員からの相談業務を担当。嘱託の弁護士・司法書士・税理士・不動産業者等事務所に相談者と同道し、事案解決に努める。

【第二の人生】同庁嘱託員として都内警察署で車庫証明事務を5年間担当。この時行政書士の活動を知り、第二の人生に行政書士を決心する。現在66歳。

【趣味】ゴルフ

【資格等】宅建主任者、カウンセラー養成コース中級修了、剣道錬士六段など。

【決意】本年5月、プロスキーヤーで冒険家の三浦雄一郎氏が、80歳にして三度目のエベレスト登頂に成功し、後日、「僕の夢は、65歳からはじまった。諦めなければ夢は実現できる。」と述べています。65歳スタートの私は、相続・成年後見・遺言を主とした業務を考えていますが、三浦氏の言葉を胸中に全力で努力し、後年、この言葉を借用できればと思っております。浦和支部会員の皆様のご指導を賜りますようお願い申し上げます。

願っています。



大戸 浩二  
おおと こうじ

【サッカーのない人生なんて!】

はじめまして、6月に入会しました大戸と申します。私が浦和支部を選んだ理由はただひとつ、大好きなサッカーの街、浦和で働き暮らしていきたいと考えたからです。思えば、20年前の1993年5月19日、駒場競技場で浦和レッズ対名古屋グランパスのホーム開幕戦を観戦したときから全ては決まっていたのかもしれない。結果は、0対3の大敗でしたが、私のサッカー熱に火をつけられるには十分でした。その後、浦和レッズ一筋でサッカーを愛してきました。

また、大学卒業後、化学メーカーの人事部、ロースクール、司法試験、法律事務所勤務、外食産業の法務部勤務と経験を積むうちに、独立して法律で地域の人の役に立ちたいと思いが強まりました。特に中小企業や個人事業主の方を応援したいと思っております。それは、父が建築関係の事業を行っていたことや、叔父や従兄弟が工務店・花屋・ブティックなど経営していたことの影響が大きいです。

そこで、好きなサッカーに囲まれ、地元の中小企業や個人事業主を応援するには、浦和しかないと思っ浦和での開業を決意しました。浦和で頑張っていますので、どうぞよろしく願っています。



大森 靖之  
おおもり やすゆき

支部の先生方こんにちは。これからお世話になります大森靖之でございます。栃木県那須塩原市出身。獅子座のO型。性格は：至極典型的なO型です。ここ浦和には2002年の10月より暮らしはじめ、早いもので丸11年となりました。親の仕事の都合で幼少の頃より転勤族であったため、私のこれまでの人生において浦和が居住期間の一番長い街となりました。浦和の街の雰囲気がとても好きで、ずっと暮らしていきたいと思っております。

趣味でございますが、夏は(鉄道による)旅人、冬はランナー、その合間での読書と料理、そしてスポーツ観戦(浦和レッズ・東京ヤクルトスワローズ)です。最近では、昨冬は東京マラソン2013にて完走を果たし、また昨夏は運気を上げるため、式年遷宮真つ只中の伊勢神宮に、青春18きっぷを活用し鈍行列車で旅に出かけてまいりました。

前職は電機メーカーで法務の仕事をしておりました。この経験を活かし、契約書などの法的書面の作成などを通じ、地域社会の発展に貢献できればと思っております。

まだまだ未熟者でありますので、支部の先生方には、何卒、温かくも厳しいご指導・ご鞭撻を賜りたく、よろしく願っています。



渡 健  
わたり けん

【種類】人間、男、貧乏、独身、水河期世代、帰国子女【悟り】

①結婚しないことが人生最大の予防法務では  
②とりあえず長いモノに巻かれとく

【趣味】音楽、絵画  
【好きな名言】「好きなもの」猫、斬新なもの、楽しいこと、美味しいもの、客観的真実および本音  
【嫌いなもの】何の合理性もない形式・様式・しきたり

【思想・信条】全く無し？  
【内心、全日本に言いたい事】時間が勿体ないからさっさと本当のこと言えば良いのでは

震災被災地を目指して

一泊研修旅行

平成25年度一泊研修旅行が、10月5日(土)～6日(日)に実施された。東日本大震災から2年半が経過し、復興への厳しい状況が報道されてはいるが、実際はどうかなのか自分の目で見、そして少しでも被災地の力になればということから、今回は被災地の視察及び被災地応援を目的とした旅行となった。

来賓として、荒岡克己会長と、福田安伸大宮支部長をお招きし、総勢25名を乗せたバスは、小雨のそぼ降る中、目的地の宮城県を目指して東北道を北上した。

車中では、来賓の挨拶と貴重なお話しに続き、新会員の自己紹介が行われた後、今回の旅行の目的に合わせ、過去にあった大地震の被災者による体験談が語られた(阪神淡路大震災：山口哲生会員、宮城県沖地震：吉田富士雄会員、新潟地震：赤坂昌雄支部長)。

正午過ぎに仙台に到着し、昼食は名物の牛タンに舌鼓を打った。昼食後は伊達政宗公の仙台城址を見物した。

仙台をあとにしたバスは、本日の宿泊地の松島に向かった。松島は、湾に浮かぶ多数の島々が防潮堤の役割を果たしたため、大きな被害を受けることなく、観光地として元の賑わいを見せていた。朝からの雨もあがったので、湾内を巡る観光船に乗り、爽やかな潮風に身を任せ、爽快な気分になった。船のデッキでは、おもに餌付けをする会員もいて、「間近に見ると、かもめはかわいい顔をしていた」という感想も聞かれた。

ホテルでは、温泉に入ってから、日頃の疲れを癒し、宴会ではカラオケで大いに盛り上がり、旅行初日の夜は更けていった。旅行二日目、いよいよ被災地に向けて出発した。石巻を

經由して女川を目指す。途中、道路と並行してJR仙石線が走っているが、これも復旧したのが途中の浦宿駅。まだ、その先は不通のままである。当駅までの復旧した区間は線路も枕木もきれいであったが、当駅を過ぎると途端に線路は錆つき、枕木も雑草に覆われていて、両者の対照的な景色が、復興が進まない現実の象徴のように見えた。



とうとう最終目的地の女川に到着した。女川は津波で一番壊滅的な被害を受けた街である。かつて町役場、銀行、町立病院等が立ち並んでいた街の中心部は、一片の面影すらなく、往時の街並みを知らない私は、目の前に広がる現実の世界に入って行けないもどかしさを感じた。海を背にして右手の方向を見ると、海拔20mの小高い丘の上に女川病院が建っているが、この病院の1階部分まで津波が来たそうである。目の前の穏やかな海が20mを超える津波に変わる：一体誰が想像したのだろ

うか。かつて工場や住宅が建ち並んでいたという地域では、すでにがれきは片づけられているので、何の変哲もない広大な更地に見えるが、一面に広がる雑草の中を覗くと地面にコンクリートの土台が残っていた。その更地の隅に供養のお地藏さんが立っており、たくさんの方が手を合わせていた。実際に自分の目で被災地の状況を見て、参加者全員がそれぞれ何かを感じながら帰路に着いた。

今回の研修旅行は移動距離が長かったが、行ってみて良かったと思う。出来ることから5年後にもう一度研修旅行で訪れたい。その時には見違えるほどに復興していますように。(厚生部長 山口哲生)

行政書士試験 試験監督員で協力

平成25年度行政書士試験が11月10日(日)に埼玉大学と獨協大学の2会場で実施された。浦和支部からは大久保治光副会長が獨協大会場の試験場責任者として、他に19名が試験監督員・本部員として参加協力した。

当日は現地集合の途上の早朝に地震が発生し、電車の徐行運転などで打ち合わせの開始に若干の遅れもあったが、準備には全くの支障はなかった。受験者の足の便にも支障

はなかったようだった。予定通り午後1時試験は開始され、3時間の試験時間は無事経過し、午後4時に試験は終了した。答案用紙の整理の後試験教室を開放、受験者は三々五々帰路についた。(広報部 中村伸二)



荒岡克己会長と共に

編集後記

支部事業が本格始動し、各部が活発な活動を行っている。本紙面もホームページとともに会員の皆様に活動状況をお知らせすることを使命としています。

割り付けから始まり校了まで幾多の校正を経て紙面が出来上がります。

限られた紙面での報告なので至らないところがあれば御容赦願います。

(広報部 中村伸二)